

# 天城北道路 狩野川横断高架橋

## 完成予想図

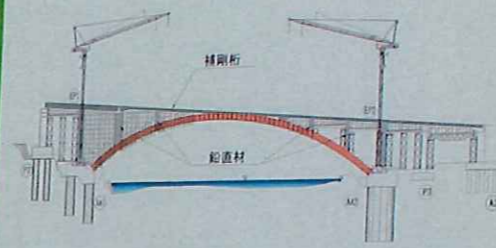
狩野川左岸側より見た完成予想CG



## 工事の特徴

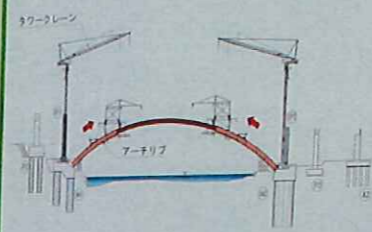
狩野川横断橋はRC上路橋。橋脚は「アーチ」と読み、鉄筋コンクリート造。橋脚間距離は110mとなり、メラン材ローリング工法を採用。ローリング工法は、橋脚間で比較

### STEP-6 鉛直材・補剛桁施工



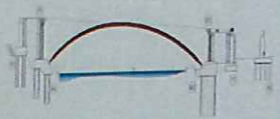
アーチリブの上に柱(鉛直材)・桁(補剛桁)を作ります。

### STEP-5 アーチリブ施工



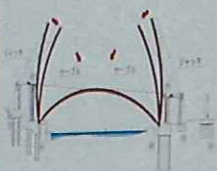
メラン材上に移動作業車を設置し、それを使ってメラン材にコンクリートを巻き立ててアーチリブを完成させます。

### STEP-4 メラン材連結



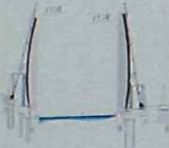
ローリングさせた左右のメラン材を川の上で連結し、一体化します。これによりメラン材で出来た弓形の梁が形成されます。

### STEP-3 メラン材ローリング



始めは河川側にジャッキを使って押し出します。自重で自然に出したらケーブルで引っ張るながらメラン材をゆっくりとローリングさせます。

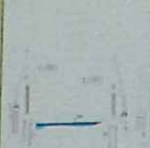
### STEP-2 メラン材設置



左右のアーチリブ(メラン材)を並べ、メラン材とアーチリブとの接点にローリングさせるためのピンを埋め込みます。

### 工ステップ

#### STEP-1 エンドボルトの施工



左右のアーチリブ(メラン材)の接点にエンドボルトを埋め込みます。

### 一覧



全体の工程を把握するための図です。

平成28年7月	平成28年9月	平成28年12月	平成29年3月	平成29年6月	平成29年9月	平成29年12月予定	平成30年2月予定
ローリングケーブル	メラン材連結	移動作業車(アーチリブ巻立)	補剛桁施工				

#### メラン材ローリング工法 ②

ローリングアンカーとして下脚工を利用

メラン材の移動に必要となる摩擦力を、アンカーとメラン材との間に発生させることで確保する。

#### メラン材ローリング工法 ③

新メラン工法の採用

メラン材の移動に必要となる摩擦力を、アンカーとメラン材との間に発生させることで確保する。

#### メラン材ローリング工法 ④

SM式ローリング支承の採用

左右に立っている支承を1本のピンにて一体化し、支承2基の回転軸を完全に一致させ、構造性、施工性、安全性を確保

左右の支承を連結